

【道路の交通容量】

【A5判 169頁 本体価格 2,700円】

昭和59年9月25日初版第1刷発行

令和5年6月22日 第15刷発行

目 次

はじめに	1
1. 道路交通状況評価と交通容量について	1
2. 本書の概要	3
第1章 交通容量とサービス水準	8
1-1 交通容量の種類	8
1-2 交通容量の影響要因	10
1-2-1 道路要因	11
1-2-2 交通要因	11
1-2-3 その他の要因	12
1-3 交通容量の単位	13
1-4 サービス水準と計画水準	14
1-4-1 サービス水準とサービス交通量	14
1-4-2 サービス水準と計画水準	17
第2章 単路部の交通容量	19
2-1 基本交通容量	19
2-2 可能交通容量	21
2-2-1 基本的考え方	21
2-2-2 算出方法と補正率の位置づけ	22
2-2-3 各種の補正	23
2-3 1車線道路の可能交通容量	34
第3章 平面交差点の交通容量	36
3-1 平面交差点交通容量の考え方	36
3-2 信号交差点の交通容量の基本的概念	38
3-3 飽和交通流率の算定	41
3-3-1 飽和交通流率の基本値	42
3-3-2 飽和交通流率の影響要因とその補正	42
3-4 交差点の交通容量算定手順	54

3-4-1	検討手順	54
3-4-2	計算例	58
第4章	ランプ部の交通容量	65
4-1	序論	65
4-2	ランプ本体の交通容量	65
4-3	ランプ接続部の交通容量	66
4-3-1	流入ランプ接続部の設計交通容量	67
4-3-2	流出ランプ接続部の設計交通容量	69
4-4	ランプ交通容量の今後の検討課題	70
第5章	織込み区間の交通容量	72
5-1	序論	72
5-2	織込み区間の交通現象	72
5-3	織込み区間の交通容量	74
第6章	交通容量の計画・設計への適用	78
6-1	基本的考え方	78
6-2	設計時間交通量	79
6-2-1	時間順位図と設計時間交通量	79
6-2-2	K値およびD値	82
6-3	計画水準と設計交通容量	84
6-4	設計基準交通量	86
第7章	道路区間の交通状況の評価	88
7-1	概説	88
7-1-1	時間内の交通状況の評価	88
7-1-2	道路区間の1日（昼間12時間）の交通状況の評価	90
7-2	混雑度	90
7-2-1	道路区間の交通容量	91
7-2-2	混雑度の算定	102
7-2-3	交通状況評価指標相互の関連性	105
7-2-4	混雑度による評価の考え方	109
7-3	道路交通状況評価の今後の方向	110
7-3-1	評価に関する基本的事項	110
7-3-2	道路交通状況評価手法の提案	111
7-3-3	サービス水準の提案	112

付録1 交通関係資料	121
A. 単路部における交通特性	121
B. 交差点の交通容量に関する基礎資料	134
C. 交通量の特性	140
付録2 交通容量の考え方の変遷	149
1. アメリカにおける交通容量の研究	149
1-1 交通容量の概念	149
1-2 理想条件下の交通容量	150
1-3 交通容量の影響要因	151
2. 日本における交通容量の研究	152
2-1 昭和33年道路構造令	152
2-2 昭和45年道路構造令	155
付録3 新HCMにおける「織込み区間の交通容量」	159
1. 織込み区間における車線の形態	159
2. 織込み区間における要因間の関係式	161
3. サービス水準	163
4. 交通容量の解析手順	164
5. 計算例	166